

「弘前市立小・中学校の教育改革に関する基本方針」に係る 第3回地域意見交換会会議録

中学校区：第二中学校区

月　　日：平成27年10月5日（月）

時　　間：18:30～19:55

場　　所：第二中学校 ミーティングルーム

参加人数：22名

＜記録＞

番号	質問等の要点	回答内容
1	I C T 整備で「弘前式」としているのはなぜなのか。他の自治体と差別化したことか。	当市では「弘前式3点セット」として実物投影機、電子黒板機能付きプロジェクター、タブレット端末を全校に整備し、まずは教員が使いこなせるようになることを目指しています。
2	小中一貫教育システムは、校舎を一つで実施するのか。それとも別々の校舎で行なうのか。	第二中学校区の場合は、今のそれぞれの校舎のままで小中一貫教育システムを進める考えています。これまでの小中連携教育から一步進める形での提案です。
3	小中一貫教育システムでは、6・3制の学制変更を考えているのか。また、そのことは長期的にはどのように考えているか。	児童生徒の転校などを考慮すると、市内全体で足並みを揃える必要があるため、学制を6・3制のままで考えています。なお、長期的に全校の足並みが揃つていけば、その先を検討していきたいと考えています。
4	新聞報道において I C T 整備率が0%となっていた。短期では整備するとしているが間に合うのか。	新聞報道にあったのは、回線速度の話です。現在、当市で整備している回線で動画などは見られます。これまで、I C T を使用するために、準備に要する時間が課題でありましたが、これからは、そのような手間を解消するために各教室にI C T を配備したいと考えています。また、配備に合わせて教員に対する研修も行うこととしています。
5	三省小学校から致遠小学校までは遠い。スクールバスの対応はどうなるのか。	国で示している小学校の通学距離の目安は、4 km以内となっています。その距離を超える場合には、スクールバスやタクシーでの対応などが考えられます。
6	歩道、通学路が整備されていないところが非常に多い。そのため、保護者が送迎を行っているのではないかと思う。教育的側面のみならず、そのような点に対しても検討してほしい。	【意見等】
7	意見交換会の場所が狭すぎる。まずは、小学校単位での説明、話し合いが必要ではないか。その後に中学校単位の話し合いなのではないかと思う。	必要に応じて小学校区ごとに説明や意見交換を行いたいと考えています。

番号	質問等の要点	回答内容
8	学校運営協議会の設置については、教育関係者の中で合意形成はどのくらい進んでいるのか。	協議会の設置には3つの要件があり、その一つである教職員の任用に関しては、全国的に見ると良い結果を招いていないケースがあります。この部分は、除いていきたいと考えています。
9	学校支援システムの地域コーディネーターは、ボランティアとなるのか。	学校支援システムを運営していくためには、ある程度の経費が必要であることを考えています。有償での運営を考えていきたいと考えています。
10	今の教員は忙しいと思う。運営協議会の仕事も増えると教員の負担は増えるのではないか。	現在、地域の人材とのコーディネートは、多くは教員が行っています。市民力を活用し、地域のコーディネーターが育つことで、業務をシフトし、教員の多忙化の解消につながっていくことも期待しています。
11	教育のためだからと言って、すべてボランティアというわけにはいかないと思う。ある程度の費用をかけて、子どもたちを教育するほうが良いのではないかと思う。	【意見等】
12	地域によって異なるだろうが農村部であれば、地域の人がボランティアで支援活動のための時間を作ることは難しい。また、支援に対するガソリン代の支給等は必要と思う。	【意見等】
13	統合した場合、通学については中学生でも心配なのに、小学生が致遠小学校まで通学するとなると一層不安である。現状でも、送迎については保護者の負担感があるが、一層強まることが懸念される。	帰りのスクールバスは2便にするなど、これまでの実例を参考にしながら検討したいと考えています。統合の検討を具体的に進めていくと、スクールバスが良いのか、保護者の送迎が良いのか、また、保護者の送迎に際しての費用負担はどうするかなど、地域の実情に合わせた検討を行っていくこととなります。
14	統合ではなく、ICTを活用した致遠小学校との遠隔授業により一緒に学ぶことができないのか。	現在、常盤野中学校と市内の学校がテレビ会議システムによる授業を行う予定です。その際、一方的な授業になるのではなく、双方向による授業が行えるよう検討ていきたいと考えています。
15	統合により子どもたちが切磋琢磨できる環境が整うことは賛成である。ただし、通学等に関する課題については、十分に検討するべきである。 第二中学校が統合して50年ほど経つが、いまだに不便を感じることもある。	【意見等】
16	三省地区においては、致遠小学校よりも高杉小学校の方が近く、道路も整備されている。また、北辰中学校は距離的に近い。	高杉小学校は距離的には近くにありますが、教育自立圏による小中一貫教育システムを考えると、同じ中学校区内の小・中学校で学ぶことができる環境を整えていきたいと考えています。中学校区の取組をこれからも大切にしていきたいと考えています。
17	児童数の増加への対策として、農地を造成し、そこに住んでもらうという考えを持っている。	【意見等】

番号	質問等の要点	回答内容
18	下校時のバス送迎に関しては、時間がちょうどよくならないこともある。市がバス等を購入し、運転手を配置し、運行すれば融通が利くはずである。	【意見等】
19	第二中学校の校舎は老朽化している。校舎を新築し、学習しやすい環境を整えてほしい。	【意見等】
20	城西小学校の通学路には、危険個所があるので対応してほしい。	現状を確認して対応します。